

第 21 号

平成14年7月20日発行



REPORT

JAPAN SPORTING GOODS RETAILER

編集：日本スポーツ用品協同組合連合会

日本スポーツ用品協同組合連合会

発行：日本スポーツ用品協同組合連合会

〈2001/8~2002/7のスローガン〉

探ってみよう！ 地域スポーツ 興こす道

スポーツ振興くじの 日本で初めての助成金が内定



理事長 辻本昌孝

平成13年3月3日より始まったtoto、初年度の売上金を締めて、スポーツ振興のための助成金がこのたび発表がありました。

この助成に関しては古橋廣之進氏を委員長とする「助成基準委員会」での審議をまとめ、その審議を受けて、「日本体育・学校健康センター」が「交付要綱」を作成し、その「交付要綱」の説明会を全国各地で開催し、スポーツ団体、地方公共団体から助成金申請の募集をおこないました。

一方で、上坂冬子氏を委員長とする「助成審議委員会」で審査を行い、各団体に対する助成をこの度内定しました。

スポーツ振興くじの収益による初めての助成でもあり、各団体の審査のためのヒアリングを行い滞りなく審査をしたそうです。

totoの売上金は当せん金として還元されるとともに、スポーツの振興の為に助成金として生かされます。JSALもtoto事業を通して、スポーツ振興の一翼をになっていることに、意識をもっていたきたいと思います。

2年度もこれまでも増してtotoの販売と、totoのご購入をお願いし、皆様の身近な地域における豊かなスポーツ環境作りと、わが国を代表す

る選手の国際競技力向上のため、ご支援頂きますようお願いいたします。

toto事業

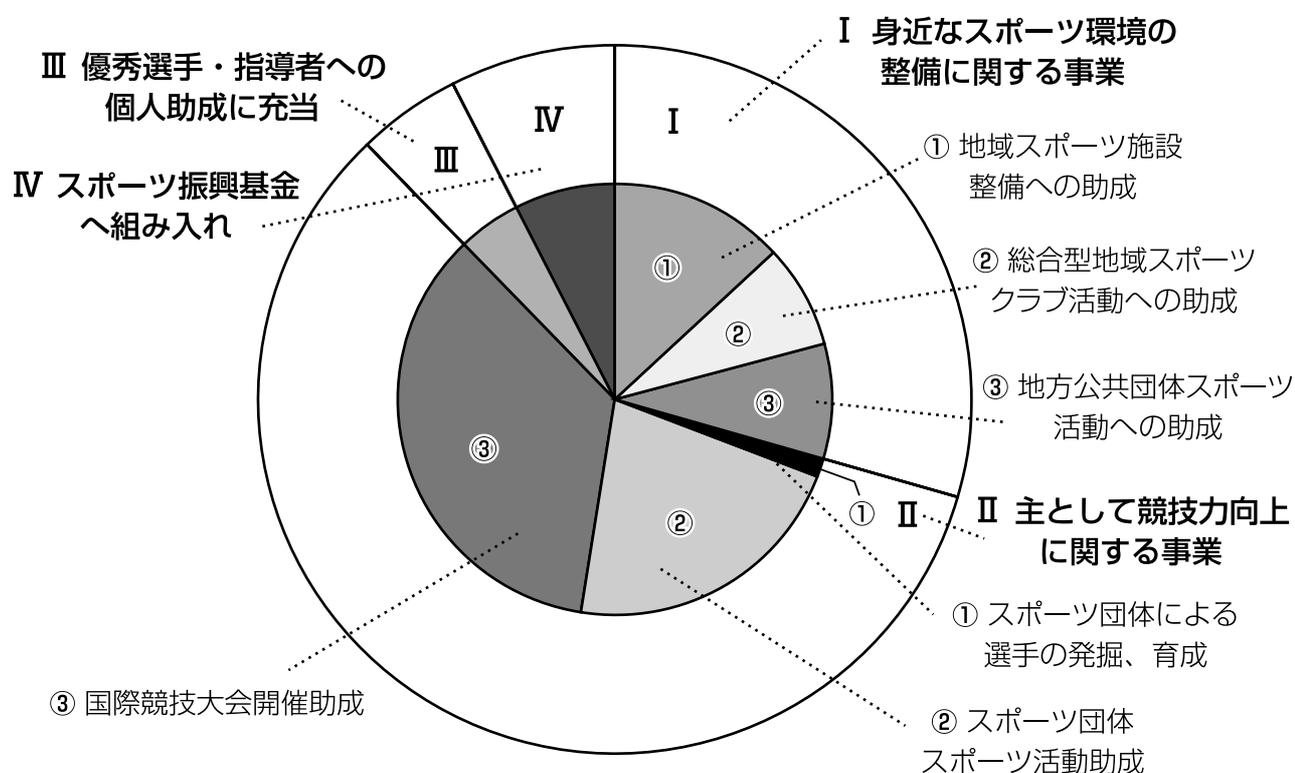
totoの事業をはじめて4月から、2年目に入りました。この1年の間にいろいろなことがありました。

JSALはまったくお役所仕事で、いろいろな料金は競争の原理が働いていなくて、実に高い。また、管理するエリアとして、一販売本部としては広すぎました。また、当初totoをデビットによる販売で計画をしていたのに、日本の銀行の破綻により合併されたため、デビットの使用が20%ほどに縮小してしまったため、現金扱いにせざるを得なかった。組合員であるというだけで、信用調査もしないままスタートしてしまいました。結果、事業開始1年で販売店の2店が倒産いたしました。

全国という広域で、68店という販売店から、年間30週、毎週、毎週、現金を回収しなければならなくなったわけであります。事務局として何故こんなに苦労しなければならないのといいたいほど事務局は集金に苦労致しました。当然、全てのお店がいい加減というわけでなく、90%のお店は約束どおりやっていただけました。10%のお店に苦労致しました。昨年1年間30週の内、すべてのお店が、予定通り入金され、スムーズにいった日は1日だけでした。そのときの事務局の喜びの気持ちをご想像頂きたいと思います。2年目は、すべて入金OKの日がもっと増えることを期待申し上げます。

平成14年度スポーツ振興くじ助成金

I 身近なスポーツ環境の整備に関する事業	2,000,000,000円
I-① 地域スポーツ施設整備への助成	881,000,000円
I-② 総合型地域スポーツクラブ活動への助成	528,000,000円
I-③ 地方公共団体スポーツ活動への助成	591,000,000円
.....	
II 主として競技力向上に関する事業	3,913,000,000円
II-① スポーツ団体による選手の発掘、育成	97,000,000円
II-② スポーツ団体スポーツ活動助成	1,457,000,000円
II-③ 国際競技大会開催助成	2,359,000,000円
.....	
III 優秀選手・指導者への個人助成に充当	323,000,000円
.....	
IV スポーツ振興基金へ組み入れ	500,000,000円
.....	
合 計	6,736,000,000円



スポーツ振興くじの助成金の内 JSRも、これだけ貢献

助成金はドーナツ型円グラフでどういふところへ助成されたか見てください。そして、右ページの棒グラフによって、都道府県へはどのように配分されたか見てください。そして、当初の予定より随分少額になっていますが、具体的に眺めてみてください。

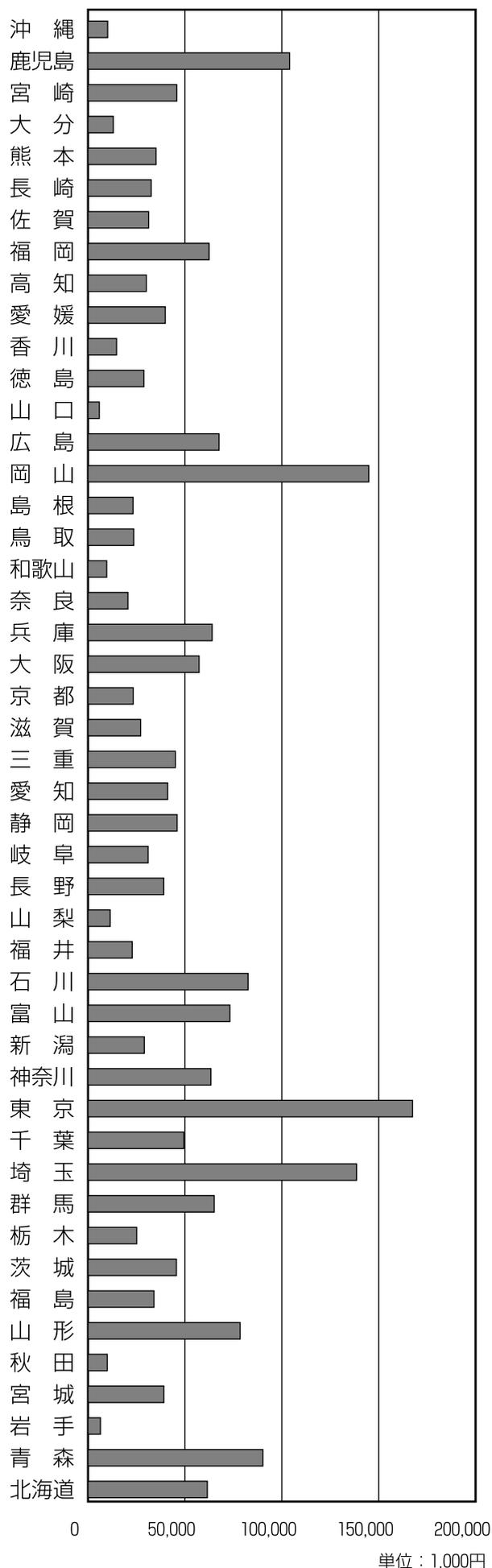
例えば、北海道へ61,556,000円助成されました。

JSRの販売額はほぼ1%でした。ということはJSRのお店で売れたtotoの売上により61万円はJSRが貢献していることとなります。

一番多い東京都は167,469,000円助成されています。ですから、東京都へは167万円はJSRが貢献していることとなります。

totoの事業は本当に大変な作業ですが、このように、貢献度合いが見えるのも気持ちを暖かくしますね。

県別・スポーツ振興くじ助成金



ワールドカップが、 教えてくれたこと

辻本昌孝

人によっていろいろな見方があると思いますが、スポーツは勝たなければいけないということを改めて感じました。長野オリンピックもこの度のワールドカップも日本の選手ががんばってくれて初めて盛り上がったように思います。日本がベルギーに引き分けた頃はまだ、日本国民は燃えていなかった。ロシアに1勝して、初めて日本は一つになって燃えたと思います。そして盛り上がり、予選リーグで1位になってしまいました。おかげで、にわかサッカーファンが増え、国民が一つになって応援致しました。

① 国民が一つになり、若者が、日の丸を持って、「ニッポン、ニッポン」と応援できたことはスポーツ以外の机上の勉強では与えられることではないと思いました。

② 史上初めての2カ国共催で、日韓共催で行われました。当初は何故?と思ったものですが、時間が経過するにしたがって、これでよかったと思うようになりました。日韓は過去何かとわだかまりがありましたが、これを機会に素直な気持ちで、お互いにエールを送りあいました。これもスポーツだからこそ出来た仲だと思いました。

③ 日本・ロシア戦のとき横浜競技場に6万6千人が入り、日本人が一つになって応援し、初めての勝利の感動をもらいました。しかし、この感動をした人たちが、果たして自分がスポーツをすることによる喜びや、感動を感じたことがあるのだろうかと思いました。

自らがDo sportsによる、喜び、感動を感じてもらいたいものだと思います。

④ 週刊朝日(6月7日号)を見ていましたら、もし決勝トーナメントに出られれば、それで成功だ、と書いてありました。しいて今回の失敗を上げるなら「この気持ち」だったと思いました。目標は、優勝を目指して参加しなければならなかったと感じました。何につけ目標を持つことは大切なそして、重要なことと感じました。

—— 業界スケジュール ——

2001年 9月 18~20日	2001年JSR全国大会・広島	広島リーガロイヤルホテル
2001年 9月 19日	中国四国ブロック総会	広島リーガロイヤルホテル
2001年 10月 10日	関東甲信越ブロック総会	箱根湯元ホテルオカダ
2001年 10月 10・11日	東京卸見本市	東京ビッグサイト
2001年 10月 13日~	宮城県国体・秋期大会	宮城県
2001年 10月 16日	九州ブロックソフトバレーボール大会	福岡
2001年 10月 27日~	宮城県国体身障者大会	宮城県
2001年 11月 13日	九州ブロック協議会・定時総会	鹿児島県霧島
2001年 11月 14日	近畿ブロック協議会・定時総会	京都全日空ホテル
2001年 11月 19日(月)	JSR理事会②	
2002年 2月 6,7日	大阪卸見本市	大阪インテックス
2002年 2月 19日	千葉県総会	千葉市・ホテル東横イン
2002年 2月 21日(木)	JSR理事会③	東京ビッグサイト
2002年 2月 21,22日	JSR全国理事長会議・JSEC連絡会議	東京ビッグサイト
2002年 2月 21,22日	東京卸見本市	東京ビッグサイト
2002年 2月 21~23日	スポーツジャパン	東京ビッグサイト
2002年 2月 23日	スポーツジャパン・ユーザー開放	東京ビッグサイト
2002年 2月 27,28日	スポーツショー・名古屋	名古屋・吹上
2002年 3月 11日	岐阜県総会	岐阜市・グランベール岐山
2002年 4月 23日(火)	*JSR理事会④	東京スポーツ会館
2002年 5月 31~6月30日	FIFA ワールドカップ	日本、韓国
2002年 5月 10日(金)	全国中央会顧客管理ソフトに関するヒアリング	全国中央会会館・茅場町
2002年 5月 14日(火)	富山県定時総会	
2002年 5月 14日(火)	石川県定時総会	
2002年 5月 14日(火)	福井県定時総会	
2002年 5月 22日(水)	山梨県定時総会	
2002年 5月 23日(木)	神奈川県定時総会	
2002年 5月 24日(金)	東京組合定時総会	
2002年 5月 25日	滋賀県定時総会	
2003年 5月 27日	愛知県定時総会	名古屋・吹上会館
2002年 5月 28日	岩手県定時総会	盛岡市繁・清温荘
2002年 6月 11,12日	埼玉、栃木両県合同定時総会	栃木・鬼怒川温泉
2002年 6月 12,13日	北海道・東北ブロック協議会・定時総会	山形・天童
2002年 6月 13日	日本スポーツ券(株)理事会、定時総会	御茶ノ水・JSPOにて
2002年 6月 13日	全運団連・定時総会	山の上ホテル
2002年 6月 13日	日本スポーツ用品公取協・定時総会	山の上ホテル
2002年 6月 14日	日本スポーツ産業団体連合会・定時総会	一ツ橋・如水会館
2002年 7月 9日(水)	*JSR理事会⑤	東京スポーツ会館
2002年 8月 1~20日	インターハイ	茨城
2002年 8月 17~25日	全国中学校選抜大会	京都
2002年 8月 28,29日	大阪卸見本市	大阪インテックス
2003年 8月 28日	近畿ブロック役員会	大阪インテックス
2002年 8月 29日	無償提供問題会議	大阪インテックス
2003年 9月 4日(水)	*JSR理事会①	東京スポーツ会館
2002年 9月 20・21~24日	高知県国体(夏)	高知
2002年 9月 17日	中部ブロック協議会・総会	福井
2002年 9月 17日	JSR全国理事長会議	福井
2002年 9月 18日	JSR・定時総会(役員改選)	福井
2002年 9月 18日	JSR・全国大会(セレモニー、研修、討議の部)(懇親会)	福井
2002年 9月 19日	JSR・全国大会(ゴルフ会)	福井
2002年 10月 22,23日	関東甲信越ブロック定時総会	千葉
2002年 10月 21~24・26~31日	高知県国体(秋)	高知
2002年 11月 12,13日	九州ブロック協議会・総会	宮崎
2002年 11月 14,15日	近畿ブロック協議会・総会	神戸
2002年 11月 19,20日	中国四国ブロック総会	高知
2003年 9月	JSR・全国大会	九州ブロック

*定時総会など、開催日を決定する前に事務局にお問い合わせ願います。



ショウバイ考 5

JSR顧問

安部 純平

小売—大きく仕入れて、小さく売る

メーカーは、大量に造らないと、原材料費が高くて、いまどきの低価格志向の時代では生きていきません。

消費者の細かなご希望を、いちいち聞いて多品種少量の生産では、大変高いものについて、商売にならないと嫌うのが、一般的考え方です。

卸・問屋は、小口の商品ばかり動かしていたのでは、物流費が高くて、採算がとれませんので、できるだけ注文を纏めて受け、物流費を下げようと考えます。

だから、小売店からの発注も、個売でなくデカとか打とかの単位で受注するようなルールを決めたり、小口の発注をプールして、一括送品という約束をしたりして、コストの切下げを計るという努力をしているわけです。

小売店は、お客様お一人、お一人のご希望に、できる限り添うようにしようとすると、一回一回の商売は小口にならざるをえません。

そこで小口の発注を、問屋さんやメーカーさんにしたいのですが、先ほど考えたように、考え方が相対立することになってきます。それでも無理に要求を通そうとすれば、仕入価格や物流費が高くなり、懐勘定が悪くなることを覚悟しなければなりません。

ですから小売店とは、どうしても、大きく（大量に）仕入れて、小さく（小口で）売らなければなりません。

大きく仕入れるとリスクが当然伴います。これをいかに小さくするかが、小売経営の難しさであり、また面白さでもあります。

小売店の強みは、お客様といつも面と向ってお相手をしていることです。

お客様のお気持ちを、一番よく知っている立場ですから、ご希望を分類して、公約数を見付け出し、それを大きく仕入れることは、可能であります。そ

れを需要予測と言ったりもします。

大きく仕入れて、小さく売り、そして売れ残りというリスクを出さないためには、いずれにしても、いつも真剣に、お客様の顔を見ておらねばならないことになります。

小売—小物を誠意を持って売る

例えば、野球のグラブ、バット、スパイクシューズ、ユニフォームといったような、金嵩が張る主力の商品群と、革紐とか靴紐、ソックスや保革油などといったような、少額な品物や、いわゆる小物といわれる商品群とがあります。

私は若い頃、この小物類を雑品と呼んで、利八翁によく叱られました。

「雑品などと、小物類を馬鹿にしたり、いい加減に考えたりしてはあきまへん。君たちのいう雑品こそ、小売店さんにとっては、宝物ですよ。小物類を心をこめて売っておられるお店こそ、儲けてはるお店やと、憶えときや。」

確かにその通りであります。

第一に、小物類は少額品ですから、「負からんか」と値切られるお客様が、少ないのが現実であります。ですから粗利益率は高く、お店の健全経営に大いに貢献しているのです。

第二に、お店の商品管理は、主力品が精一杯で、小物の類まで細かく在庫を把握されているお店は少なく、お客様が買いにこられて、はじめて品切れを知るとというのが実状でした。

いつもこんなでは、お客様は遠のいていけません。逆に、小物類に意を注いで、販売努力をしていると、お客様からは「何でも揃っているお店」という評価を頂き、いつかお客様がお客様を呼ぶ繁盛店になるわけです。

小売（コウリ）とは、小物や、少額品まで、きちり管理して、お客様の便宜に心を配る小売（ショウバイ）ではないでしょうか。

事業委員会



委員長 谷 久人

総務委員会



委員長 石井憲孝

1. 2002年『よさこい高知国体』

- 夏季大会 平成14年9月20日～24日
水泳・ボウリング・ボート・ゴルフ等にテニス・サッカー・ライフル射撃が加わる。
- 秋季大会 平成14年10月21日～24日 陸上競技
〃 平成14年10月26日 総合開会式
〃 平成14年10月27日～31日 バレーボール・バスケット等の開催。

宿泊施設等の関係で上記の様に例年になく変則に開催されます。夏季大会のメイン会場の売店エリアが狭くテントの確保に組合三役が大変な苦勞をされている現状です。

*平成14年3月15日付け 国民体育大会改革案発表(財)日本体育協会 承認

国体の簡素化、秋季・夏季同時開催、参加人員の15%削減、トップレベルの選手参加促進等国民体育大会存続のために強い意志で取り組む。

2. 14年度全国高等学校総合体育大会

『競え友よ熱き力を茨城で』

- 平成14年8月1日～8月20日
陸上・水泳・サッカーはじめ28競技(男子27競技、女子22競技)
参加者総数60,000人(選手・監督33,000人、競技役員6,000人、運営委員4,000人 競技運営補助員11,000人、総合開会式出演者6,000人)
売店申請も終了し7月15日に各会場の責任者全員が集まり最終説明会を開催予定。

前々年度・前年度の開催組合の指導を受け、JSECのアドバイスにて成功出来る様諸準備を進めております。

3. 平成14年度全国中学校体育大会 16種目

- 平成14年8月17日～25日
近畿地区6県(京都・兵庫・大阪・和歌山・奈良・滋賀)で開催。
サッカー『ワールドカップ』開催の関連で、売店テントの確保や諸準備が遅れております。また各県の中体連及び競技団体より広告費や例年になく売店テントの場所代を要求されており対応に大変な苦勞をされております。

3. 平成14年度静岡国体リハーサル大会

- 平成14年5月25日のなぎなた競技の開催より順次進めております。
来年度の本大会に向け組合員一同一致団結して活動しております。

《スポーツ券報告》

本年は《目標は65万枚に再度挑戦》で3ヶ月が経過しました。現在のところ官公庁の大口受注、加盟店での小口売りともに比較的順調に推移しております。前年度は加盟店、店頭での積極的販売が貢献し、年間10口(250枚)以上の販売加盟店は全加盟店2,233店の15%に当る、過去最高の349社(昨年319社・対比30社増加)となりました。349社の販売枚数計は、全体の64%、38万4,300枚になっております。

先日発表された13年度10口以上の販売加盟店を、県ごとにランキングし、県での総販売枚数を割り出したデータによると、ブロック、県別に大きなバラツキが見られます。スポーツ券(株)では各県でくまなく販売いただけるように、世帯数を基準とした販売目標が設定されました。

年々換金額も増加し、安定した経営を維持するには、年間70万枚以上が目安とのこと。加盟店様におかれましては、積極的な店頭販売と身近な官公庁、企業、学校、スポーツサークルなど気を配っていただき受注の促進をお願いいたします。

《公取協レポート》

最近、スポーツ業界の販売店においてもホームページを利用した宣伝や通信販売も行われています。すでに、公正取引委員会からはインターネット上の仮想店舗における表示も、景品表示法の「表示」に含まれるとの見解を明確にされているところでありますが、インターネットの特質から、従来のチラシとは違った問題を提起している場合も見受けられます。例えば、採算を度外視したような廉価販売をする事例や、自己の店の優秀性を訴求する余り他の販売店を誹謗中傷するような事例もあります。

技術革新の恩恵を享受しようとおもえば、先ず、クリーンハンドの原則を思い起こすべきです。自由で公平な競争を行うということは、その技術を利用して発信する内容は正確であるべきです。

消費者からは信頼される業界として正確表示を心掛けていただきたいと思います。

広報委員会



委員長 小関和夫

地域スポーツの重要性が叫ばれている昨今ですが、前回の九州ブロック主催のソフトバレー大会に引き続き下記の大会に就いて紹介する。

(1) 第1回JSR杯中国四国

グラウンドゴルフ交歓大会

“探ってみよう！ 地域スポーツ興す道”

日時	2002年7月2日～3日		
場所	広島ビックアーチ第1球技場 他		
主管	JSR杯実行委員会		
主催	広島県グラウンドゴルフ協会 JSR中国四国ブロック協議会		
協賛	(株)アシックス・明治製菓(株)		
参加人数	岡山県 73	香川県 17	
	山口県 93	愛媛県 9	
	島根県 26	広島県 307	
	鳥取県 18	計 543	

JSRのスローガンを掲げての第1回大会。実にタイムリーな大会の開催と言えよう。

(2) 第6回竹半杯8人制バレーボール大会

竹半杯の竹半社長は4月にご逝去なされた秋田県組合の前理事長であり、この大会の使用球は全て秋田県の組合で販売しており、組合の貴重な財源になって居る。ボールはビニールとゴムとあり、各1個400円である。

開催日時	平成13年5月29日(火)		
場所	秋田市立体育館		
主催	(株)竹半		
後援	秋田市8人制バレーボール連盟		
参加チーム	ビニールの部 70チーム		
	ゴムの部 19チーム		

ママさんに大変人気のある大会として根付いており、これまでは竹半スポーツの主催でしたが、近い将来には秋田県の組合の大会にしていきたいとの構想がある由。

そしてこのユニークな大会を北海道・東北ブロック協議会の事業として展開できないものかと先輩県秋田組合さんに指導を受けているところです。

IT委員会



委員長 上田善重

ワールドカップサッカーもブラジルの優勝で無事に終わったが、この一ヵ月はいろいろな話題を提起してくれました。先ずフーリガンの問題ですが事前に対策を練り相手に情報を流した結果の成果であると思います。次に主催国の頑張りです。韓国が国を挙げて一致団結をしたあの姿が今でも目に浮かぶのですが、同じ主催国として『日本に負けるな』というハングリー精神があつてこそ、あそこまで燃え上がったのだらうと思います。その点日本は恵まれた中で一生懸命やっていたのですが、何かすきがあるような気がしてならなかったのです。つまり『気迫』と『執念』が足りなかったのではないかと思えるのです。その差が結果として表れたのです。今後韓国はこの経験を生かしあらゆる点で力を付けて来ると私は思います。また国々の伝統と文化の違いをテレビ中継やサッカーを通じて垣間見ることができました。それぞれの出来事や感じたことはマネジメントやビジネスにも参考になることが多く含まれていた様に感じました。さて平成14年度の顧客管理システム、ソフト開発の補助金の申請をしておりましたが国の財政難による予算削減の関係で今年度は補助金が降りませんでした。IT委員会では補助金がなくても営業管理システムの一環として捉え開発会社と交渉し遂行していくつもりでいます。またPOSシステム普及の問題も今後の商売には必需品であることをもっと解かりやすく説明し、この変革の時代に生き残って行けるよう説得しなければならないと思っております。皆様方のご協力をお願いする次第であります。

関東甲信越ブロック



関東甲信越ブロック協議会副会長

高野 征宣

日本スポーツ用品協同組合連合会理事
神奈川県運動具商協同組合理事長
(株)バギオ・スポーツ高野商会代表取締役

日本スポーツ用品協同組合連合会関東甲信越ブロック協議会は本州の一番太い所を日本海から太平洋までの次にあげる一都九県で構成されています。ちなみに新潟県、長野県、群馬県、山梨県、埼玉県、栃木県、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県です。余談ですが四方を海で囲まれた日本で我ブロックには海の無い県が5つもあるんですよ。信じられますか。海のある都県、山の県、山物冬物に強い県、海物夏物に強い県等千差万別の構成となっています。

今年是我ブロックはFIFAワールドカップで大変な盛り上がりでした。それは全国での盛り上がりより数段上回っていたと思われます。日本で開催された10会場の内、次の4会場がブロック内にあったおかげと考えられます。又国内32試合の内、14試合もそれらの会場で行われました。

新潟会場 3試合 茨城会場 3試合
埼玉会場 4試合 横浜会場 4試合

日本でのオープニングゲームは新潟会場でアイルランド対カメルーン戦によって決戦の火ぶたが切られました。そしてセミファイナルが埼玉会場でトルコ対ブラジル戦、ファイナルが神奈川の横浜会場でドイツ対ブラジル戦が行われワールドカップの中心ブロックとして大きな思い出を作ることができました。日本チームの大活躍に大きな拍手を送りたいと思います。

この大会が開催されるにあたり我スポーツ業界は大きな経済効果やメリットを期待し又あると思っておりましたが大会が近づくにしたがって一部の業者を除きその期待したものは我々の業界の頭の上や横を通り抜けたと言うより吹き抜けてしまったように思われてならない。日本の我業界はほと

んどの人達がワールドカップの事をよく知らなかったのではないだろうか。それとも知っていたが、誰かが何とかしてくれるだろうと多寡をくくっていたのだろうか。いずれにしてもいつもの通り、組合に入ると何かメリットがあるの?とか入っていても何のメリットが無いなどと常日頃思っている人達がワールドカップサッカーもスポーツの大きな大会なんだから国体やインターハイの時と同じように待っていれば何らかのいいことが転がり込んでくるだろうなんて都合のよい考え方をしていたのではないだろうか。それはスポーツ小売業だけではなく他の二層にもあったのではないかと思う。ほんとうに悲しい限りです。これを肥しにして「祭りのあとの……」にしないようにがんばりましょう。私自身もワールドカップに浮かれてしまったのか、この原稿を書くのをすっかり忘れていてしまい、資料集めもせずブロック紹介もろくにせず勝手な思いを書いたことをお許し下さい。

さて、我関東甲信越ブロックは全国の他のブロック、都道府県と同様に、会員増強を図るのは当然のことではあります。長年の不景気、売上不振により増強よりも減少をくい止めるのが大変であることは事実であり皆でなんらかの方策をたてていかなければならない。魅力ある組合、活力ある組合に作り直すには今残っている組合員が力を合わせ組合の各事業に積極的に参加、活動をし自分達が払っている賦課金が安いと感じるようにしなければならぬし、リスクの無いメリットはどこにもないということを感じなければならぬと思う。組合員の減少は悩みではあるが、考え方を変えて、余分な脂肪がとれてスリムになったおかげで動きやすくなったと思いたい。今残った組合員が本当の組合員であると信じ再出発をしたいと思えます。

今年の当ブロックの大きな予定は次の通りです。

- 8月1日より 高校総体 茨城県
- 10月22日 ブロック総会 千葉県
- 11月8日より マスターズ大会 神奈川県



石川 富康

愛知県スポーツ用品商業協同組合
穂高スポーツ 会長

愛知県JR刈谷駅前の大変良い立地にski & outdoorの店「穂高スポーツ」、テニス専門店「バルトロ」、野球、サッカーなどの一般スポーツ用品「穂高スポーツ」と、3つのお店が並んでいます。現在は夫々のお店を夫々の社員の方に独立した形で、経営をゆだねておられます。

今から15年程前、愛知県直前理事長の山本さんの下で、石川さんとともに、私は副理事長として努めた仲でございます。

石川さんは1966年7月1日4坪の店からスタート、7坪に拡張、踏み切りの横の店を経て16年で今の店の1つに出店されたそうです。今商売を譲って振り返ってみると、デサントadidasの3F、4F、そして修学旅行用に合皮のadidasバッグが良く売れた頃の商売が楽しかったとおっしゃり、又、今景気が悪いといわれているけれど、商売を離れた人から見ると、これからがスポーツの商売の楽しい時期に入るように思えてならないそうです。

石川さんはがっしりとした体格でいらっしゃいましたが、あるときから顔が随分と痩せて、私は病気でないかと心配しておりました。ところがある時、温泉と一緒にいる機会があり、石川さんの腹を見て驚きました。腹筋が綺麗に6つに分かれていました。エレベーターを待っていると、石川さんは階段を駆けて行かれるのが常でした。

そして、1989年にチベットの8027mを制覇され、1991年にも8201mを制覇、1994年にはネパール側の南稜からの登頂にも成功しておられます。

この度はエベレスト8850mを世界最高齢の65才で北稜から成功されました。石川さんは世界にある14座ある8000m峰の6座に登頂されたこ

とになります。

また、登山家としてだけでなく地球を思う気持ちも崇高なものがあり、10年程前だったと思いますが8000mの山から乾電池などをドラム缶に3杯ほど日本に持ち帰っておられます。山は世界各国の登山家による、乾電池などの廃棄物で汚れているそうです。

石川さんは、それを見られて、これではいけないということで、それらの持ち帰りを企画し、10年程前に実行されました。

私は、対談をさせて頂き、今回また新たな面を知りました。

石川さんはネパール初め諸外国へ行くうちに、山でお世話になった人が多く、その方々を日本へお招きしたり、身元引受人になったりして、お世話をしてこられたそうです。その中の1人に、韓国人で東大に留学した人もあり、今回40才のその方から韓国へ夫婦で招かれ、ワールドカップの試合を見てこられたのみでなく、部屋へ通され、正座をされ頭を下げ、今あるのは石川さんのお陰と感謝の言葉と共に、自分の東大農業経済学部の卒業証書を受け取ってくれと渡されたそうです。

留学だけでなく、日本の山へ登りたいと言う事で、何百人もの身元引き受けをされ、多くの国際交流が続いているそうです。

最後に、人生訓をお伺いしました。

「夢を持ち、夢を見るだけではいけない。夢に向かって、努力しなければいけない。一生懸命やれば必ずかなうものである。」と、おっしゃいました。

レポーターの私の目から見まして、全国のスポーツ店で、しっかり経営できているお店は、奥さんがしっかりしておられます。穂高さんも、例に漏れず、本当に奥様がしっかり守っていらっしゃったから、石川さんはこんなに大きな夢を達成されたのだと思います。

そして更なる夢を聞きますと、奥さんに遠慮してにたと笑っておられました。

(インタビュアー 辻本 昌孝)

宮城国体を振り返って



宮城県スポーツ用品協同組合
理事長 小島文雄

戦後国民に元気を与える目的から開催された国体は、スポーツ振興や競技力向上といった理念より目的に沿った原点に立ち返り、勝敗や記録だけでは表せないスポーツのもう一つの価値を出して、「教育としてのスポーツ」から、音楽や美術と同様に暮らしを豊かにする「文化としてのスポーツ」として、視点を大転換して国体を見直す空気が広がりました。2000年11月に、国体改革の基本的方針が日本体育協会から発表され、宮城県でも開催を機に次のような議論や提言がありました。

- ・ 国体開催基準の見直しを必要とし、開催地のスポーツ事情に応じてオリジナルの競技を開催地が実施出来るように独自性を尊重してトップレベルが参加する日本選手権とは出場者を完全に分けて生涯スポーツの普及を図る国体にしたらどうだろうか？
- ・ 優勝する事を命題にしている強化策に疑問を投げかける議論がもっと起こっても良いのではないだろうか？
- ・ 都道府県対抗の国体があるのは世界で日本と中国だけだろうか？
- ・ 開催地ごとに地域で普及していない競技を止めれば無駄な施設を作る必要もなく肥大化も改善され、行革国体を目指せるのではないだろうか？
- ・ 日程の組み方も運営する側の都合だけでなく観客が増えるように併せて会期を広げ週末に決勝戦を持ってきて、競技の合間に選手と観客が交流できるようにする配慮が欲しい。
- ・ 障害者スポーツ大会は国体との同時開催

がふさわしいのではないだろうか？

・ 開催県も市町村も競技団体も多大な税金を投じているが、一般の人には経費に見合うだけの成果を感じているだろうか？コスト低減を図り国体を開催するメリットを説明出来る仕掛けも必要である。例えば期間中に公共のスポーツ施設や民間のスポーツクラブを無料開放し普段スポーツと無縁な人にもスポーツを楽しむきっかけにならないか？など、活発な議論がなされました。

現実はどうであったか整理してみると、総合得点は5点差で東京に敗れる予想もありましたが、開催地として当然とされる(?)男女総合優勝を獲得して安堵しました。又、県職員や教員に選手採用の特別枠を設けず、企業にも選手採用を強制しなかった点で宮城県は一過性の勝利を求めず将来を見据えて競技力全体のレベルアップを狙った結果であり、今後の国体開催地の選手強化に一定の方向性を出しました。この努力がどう継続されるかは今後の課題であります。

バブル期に企画、設計、建設が進んだ施設は立派な施設として県内に設置されました。しかし厳しい社会情勢で運営段階では県の行政改革の強化により予算の見直しが幾度かあり、記念品配布の全廃、華美な式典や参加者数の抑制など創意工夫で宮城らしい式典になりました。この事は県民総参加の意識がスポーツの魅力や楽しみ方を改めて知る機会となり、宮城にスポーツ文化を芽生えさせました。

我々組合の売店販売の成果についての詳細はJSECの会議で公表しておりますが台風、航空機テロ、狂牛病、炭疽菌テロと4大事件の直撃にもめげずに前年並みの実績は、社会情勢を考慮に入れると成功といえると思います。

役員は勿論の事、組合員やその社員の皆様、そして関係者の皆様の多大なご協力に心より感謝致します。

中国短信

小 関 和 夫

JSRレポート20号の「欧州短信」を見て、アジア、特に進展著しい中国について書いて欲しいとの声がありました。幸い私には中国との長い関わりがあり、友人も多くいるので、彼らとのこれまでの交流を通しての、一般にあまり報じられていない話題を少しレポートしてみたい。

1. 利己主義

中国は共産主義の国ですから、国民はそれぞれ自己主張をせずにお互い協調していると思いきや、実はそうではなく中国人は大変にエゴイストなのです。一般に米国人は利己主義者と言われているが、中国人は米国人と同じか、あるいはそれ以上にエゴイストだと言われている。こんな例があります。

会社あるいは政府からの派遣で日本などの先進国に最新の技術を学ぶためによく参ります。そこで優れたテクノロジーなどを習得して中国へ帰ってゆきますと、彼等は学んだことを他の同僚や会社に披露したり、発表したりはしないのです。自分ひとりの特権としてしまっておいて、やがて自分が独立して仕事を始める時に使うと言われていきます。日本ではそんなことは考えられないのですが、中国ではそれが当たり前なんです。費用は会社や国から出してもらったとしても、遠い日本までわざわざ出かけて行って、苦勞して習得したのは自分なのだから他人に教える必要がないという典型的なエゴイストなのです。

2. 一人っ子政策

中国には人口が公称11億人、一説には13億人も居ると言われている。人口抑制の為に晩婚を奨励し、一人っ子政策を実施しているのはご承知のとおりです。農村では後継者問題等もあり、男が生まれるまで内緒で、いわゆる役所に出生届を出さずに2番目3番目の子供を出産しているらしいと言われてきました。それが最近農村に限って、最初の子が女子の場合、母親が30歳を過ぎた時点でもう一人だけ出産が認められたのです。

しかし都市では厳しく守られており人権的にも不満がくすぶっており、この政策の功罪が問われる日が来ることが危惧されているのです。一人っ子の為に子供は甘やかされて育てられており、彼らが大人になった時のことが心配されるからです。

3. 貧富の差

経済的には中国の発展は目を見張るばかりである。特に上海、深圳においては世界の生産拠点としてこれほど急速に発展したのは世界にも例がないといわれている。しかし平等を旨とする社会主義国、中国で富める者と貧しい者の格差が急速に広がったのです。持てる者の代表である個人経営者は、一般労働者たちには手の届かない自家用車を持ち、高級ホテルで食事をし、ディスコで深夜までダンスを楽しんでいるのです。

それと並行するように、それまで殆んど犯罪のない国であった中国に強盗や殺人が急増し、治安の悪い国になってしまったのです。お金を見ると人間は変わるんですね。

4. 辛抱強さ

しかし変わらないものもあります。30年程前に初めて工場見学をさせていただいた時のことです。中国には揚子江という中国大陸を横断している大河がありますが、その揚子江の南側の地域では、冬のどんなに寒い時でも暖房器具の使用が禁止されており、行員たちは皆、何枚も重ね着をして働いていたのです。私はその時思いました。人間は日本人のように少し裕福になるとどこまでも際限なくなるものですが、中国人の辛抱強い質素な暮らし振りを見せられた時に、将来きっと脅威になる時が来るのではないかと。

よく中国人はIron bowl といって鉄のお碗で食事をしていると批判されてきました。即ち働いても働かなくても共産主義のもと国家が保証してくれるので食うには困らないとの意味ですが、確かに当時はあまり働かないと言う印象がありましたが、最近市場経済が採用されてからは大変な頑張りをしているのがよく分かります。近い将来、中国時代が来るであろうことはおそらく間違いのないように思います。

5. 英語のレベル

私は中国の友人とは英語で交流しています。彼等の英語のレベルは日本人以上で、大学卒であれば程度の差こそあれ一応英語を話せるように思います。しかし私の友人はかなりレベルの高い英語を話すのですが、文化や文学などの話題になると急にトーンダウンするのです。中国の英語教育はいわゆる実用英語に力を入れているのが分かります。

ちなみに、英語力を比較するのに世界標準といわれるTOEFLの検定のデータを見てみよう。1999

年、日本は677点中498点で、なんとアジア25カ国中で北朝鮮と並んで最も低かったのです。2000年には、日本人の平均点は初めて500点を越えて501点となり最下位を脱したが、それでもアジア21カ国中18位で、低いことに変わりなく文化的、言語学的に日本と共通点の多い東アジアの中でも、中国の562点、韓国の532点という数字に大きく水をあけられています。教育水準が高いといわれ、多くの生徒が中学高校と6年間英語を学んでいるわが国の状況を考えると、「日本人はやっぱり英語ができないんだ」という結論に落ち着いてしまうのも不自然ではないでしょう。

中国人の英語力はこのデータを見ても相当なものであり、いまWTOにも加盟し世界に大きく展開しようと言う中国の勢いが英語力にも感じられるように思います。

6. 大陸的性格

中国での乗り物の時刻ほど当てにならないものはない。私は飛行場で8時間待たされたことがある。しかも場内アナウンスは一切なく、受付に何度確認しても、まだ先方から飛行機が着かないのでといい、あとは分かりませんの一点張りだ。予定が不明なので、飛行場を離れるわけにもゆかず、あの時のいらいらは相当なものでした。しかし、待合室にいた多くの中国人らしき人たちは、慌てず騒がず悠然たるもので、ああ、これが大陸人的性格なのかと感心すると同時に、自分がなんと情けなく思ったことか。

その後中国で飛行機に乗る時にはいつも、ここは中国なのだ、今日中に目的地に着けばいいやといつも自分に言い聞かせることにしている。

7. 乾杯 (かんぺい)

中国人との宴会では、何度も白酒で名指しで乾杯を繰り返す。中国式乾杯は文字通り杯を乾すことで、乾杯後に杯を逆さにして飲み干したことを確認しあうのです。彼等は乾杯する時には、相手の表情を凝視し、相手の心の奥深く読むのだと言う。

白酒はアルコール度が高く、火をつけると青い焰で燃え、日本人のようにあまり酒に強くない人にはこたえるし、中国人の酒の強さには下を巻くばかりだ。私はいつも半杯で許してもらっている。

また中国人は冷たいものは体に悪いと思っており、生野菜は口にしない。ビールも冷やして飲まない人が多く、コーラも同じである。食堂車で飲んだ生暖かいビールの味は忘れられない。中国では今でもビールを量り売りしており、昔から冷やして飲む習慣はなかったようです。いろんな銘柄の中で青島ビールが最も高級といわれ、最近では日本の多くの銘柄も飲まれているようです。

8. 中国人との付き合い

中国人は「本音と建前」の差が日本人以上に大きく、交渉上手は有名で、いわゆる商売上手で抜け目がないと言われる。大陸で多民族国家で必然的に侵略と抗争の歴史の中を必死に生き抜いてきた彼等と、島国で一民族国家の日本人とでは真剣さの度合いが違うのです。

しかし、同時に、中国人は「井戸を掘った人を忘れない」と言われ、一度恩義を受けた人のことはいつまでも尊敬すると言う特徴を持っています。

その一例として、田中角栄元首相が失脚し、失意のうちに発病入院した時、日中国交回復の恩人として、中国政府は要人をわざわざ東京の病院まで見舞いによこし、葬儀に際しても丁重に参列し自宅まで弔意に訪れたのです。

私はこれまでいろんなタイプの中国人と付き合いってきたが、彼等の風俗、習慣などを認識したうえで、同じ人間として誠意を持って付き合い合えば心は必ず通じ合えるものと信じている。

いずれにしろ、少ない紙面で彼らのことを語るのは不可能であることを改めて痛感した次第です。

編集後記

ワールドカップサッカーも大変な盛り上がりの中に終了し、サッカーの人気の高さ、スポーツの素晴らしさを世界に示してくれた1ヵ月だったと思います。私共の業界もこの活況に是非あやかりたいものです。

理事長が取材しレポートしてくれたスポットライトに登場の穂高スポーツの石川氏は、事業のかたわら世界の高峰を征服している登山家であり、お世話になった国より多くの方々を日本に招待するなどのボランティア活動をなされておられることを知り改めて我が業界の多士済済振りに驚いています。是非何かの機会に御講演を願いたいものです。

高野氏のブロック紹介も、新しい視点から書いていただき有難うございました。

JSR第3回全国大会がいよいよ間近になりました。こぞって福井に参りましょう！

期 日 9月17日(火)～18日(水)

場 所 福井県 芦原温泉

《訂正のお願い》

1. リポート20号の広報委員会報告で紹介した九州ブロック主催の大会はソフトボールではなくソフトバレーでした。
2. 総務委員会報告の、スポーツ券の発券枚数60万枚のところ、80万枚になっていました。お詫びして訂正させていただきます。(K.K.)